

健全で豊かな森林づくりプロジェクト 自己評価シート (5年間の総括)

プラン名	恵南地域森林づくりプロジェクト			作成日	24年 4月 27日		
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 単独 <input type="checkbox"/> JV	所属	恵南森林組合	記入者	中垣 義光		
プロジェクトの対象・目的・内容	対象 (誰を、何を)	目的 (どういう状態にしたいのか)					
	○利用適期にある森林資源 ○過剰植栽した人工林 ○急傾斜人工林 ○基幹道(不足) ○作業道開設ノウハウ(不足)	○小規模所有山林の施業集約化 ○生産林(長伐期多間伐施業)と環境林(針広混交林)に森林区分し目標林型へ誘導 ○月間及び年間林産計画の樹立(林業経営の確立) ○恵南地域の施業体系の確立 ○恵南地域の作業道開設・補修・管理方針の確立					
	事業内容 (どのような方法で、何を行うのか)	○生産森林組合等地元協力者を活用し効率的に施業を進める。 ○複合的な集材方法により木材生産を行う。 ○施業内容の検証や実践的な作業道開設研修によって施業プランナー及び作業道オペレーターを養成する。 ○試験研究機関との連携による施業実施後の科学的評価(定点・追跡調査)及び施業技術研修を定期的に行う。					
事業期間	平成 19年度 ~ 平成 23年度 (5 年間)						
	モデル団地への国・県・市町村補助金投入額 23 ※職員人件費を除く						
事業種別	森林整備関係	搬出補助関係	機械導入関係	路網整備関係	治山・保安林関係	その他	
予算執行額 (千円)	43,863	3,000	13,808	3,408	17,511	5,323	
財源内訳	国・県費	40,503	3,000	6,174	3,408	17,362	1,457
	市町村費	3,360	0	1,372	0	149	0
	一般財源	0	0	6,262	0	0	3,866
	その他						
事業実績	成果指標		単位	事業計画 (5年間の総計)		事業実績 (5年間の総計)	
				計画		実績	
	①	施業集約化	ha	686		573	
	②	植栽	ha	-		-	
	③	下刈・除伐	ha	-		-	
	④	切捨間伐	ha	150		236	
	⑤	利用間伐	ha	104		37	
	⑥	主伐	ha	15		1	
	⑦	作業道開設 (延長) w= 3.0 / 3.6 m	m	4,500	4,700	1,663	-
	⑧	作業道開設 (開設コスト) w= 3.0 / 3.6 m	円/m	2,300	2,300	9,700	-
	⑨	木材生産量 (モデル団地内)	m ³	7,140		2,428	
	⑩	木材生産量 (モデル団地外)	m ³	46,320		29,237	
	⑪	木材生産性	m ³ /人日	3.6		2.0	
	⑫	木材生産コスト (伐採～積込まで)	円/m ³	9,560		13,000	
	⑬	高性能林業機械導入	台	-		-	
	⑭	伐採専門チーム養成	チーム	1		1	
	⑮	森林施業プランナーの育成(施業プランの活用件数で評価)	回	30		0	
	⑯	試験研究機関との連携による施業実施後の科学的評価(定点・追跡調査)	回	3		1	
	⑰	えなの森林づくり推進委員会との連携	回	3		0	
	⑱	森林所有者を対象とした意向調査	回	1		0	
	⑲						
	⑳						
	(21)						
	(22)						
	(23)						
(24)							
(25)							
補足説明	●エリア内の森林所有者の多くが境界確定に関心が高かったため施業集約化がスムーズに進められた。 ●切捨間伐も森林所有者からの要望により計画数値以上の施業が出来た。ただし利用間伐は、エリアの地形が急峻で地質が脆弱な事により既設基幹林道が無いため施業が困難であった。 補足＝作業道開設コストは6,500円/m～9,700円/m (重機使用料含む) が当組合の金額です。また補修費は除いています。						

【フォローアップ委員会時点の自己評価】				
配点	3点	2点	1点	
プロジェクトは当初計画どおり実施されているか	<input type="checkbox"/> 実施されている	<input checked="" type="checkbox"/> 一部未実施	<input type="checkbox"/> 実施されなかった	
当初設定した目標（生産コスト等）は達成したか	<input type="checkbox"/> 達成した	<input checked="" type="checkbox"/> 一部達成した	<input type="checkbox"/> 達成しなかった	
進捗管理（定点観測等）は実施されているか	<input type="checkbox"/> 実施されている	<input checked="" type="checkbox"/> 一部未実施	<input type="checkbox"/> 実施されなかった	
【プロジェクトの総括自己評価】				
配点	3点	2点	1点	
プロジェクトは当初計画どおり実施されているか	<input checked="" type="checkbox"/> 実施されている	<input type="checkbox"/> 一部未実施	<input type="checkbox"/> 実施されなかった	
当初設定した目標（生産コスト等）は達成したか	<input type="checkbox"/> 達成した	<input checked="" type="checkbox"/> 一部達成した	<input type="checkbox"/> 達成しなかった	
進捗管理（定点観測等）は実施されているか	<input type="checkbox"/> 実施されている	<input checked="" type="checkbox"/> 一部未実施	<input type="checkbox"/> 実施されなかった	
補足説明	<ul style="list-style-type: none"> ●プロジェクト当初は作業路開設のノウハウが少なく、土質や線形等の検討が不足していた。現在は維持管理のかからない適正な線形、縦断勾配を考慮し工事を実施している。 ●作業路開設後の維持管理を組合が行っており、費用の捻出が負担になっている。 			
【フォローアップ委員会時点の自己評価】				
配点	3点	2点	1点	
木材生産の拡大が図られているか	<input checked="" type="checkbox"/> 図られている	<input type="checkbox"/> 一部図られている	<input type="checkbox"/> 図られていない	
森林環境（動植物等）の改善を確認できるか	<input type="checkbox"/> 大いに確認できる	<input checked="" type="checkbox"/> 一部確認できる	<input type="checkbox"/> 確認できない	
山地災害発生を抑止する工夫ができたか	<input type="checkbox"/> 工夫できた	<input checked="" type="checkbox"/> 一部工夫できた	<input type="checkbox"/> 工夫できなかった	
【プロジェクトの総括自己評価】				
配点	3点	2点	1点	
木材生産の拡大が図られているか	<input checked="" type="checkbox"/> 図られている	<input type="checkbox"/> 一部図られている	<input type="checkbox"/> 図られていない	
森林環境（動植物等）の改善を確認できるか	<input type="checkbox"/> 大いに確認できる	<input checked="" type="checkbox"/> 一部確認できる	<input type="checkbox"/> 確認できない	
山地災害発生を抑止する工夫ができたか	<input type="checkbox"/> 工夫できた	<input checked="" type="checkbox"/> 一部工夫できた	<input type="checkbox"/> 工夫できなかった	
補足説明	<ul style="list-style-type: none"> ●今までは切捨間伐を主で行ってきたが、作業道を利用した利用間伐のシステムを開発できた。（ラジヤリ、タワーヤード、集材機） ●利用間伐実施箇所では、衰退していた下層植生が活性化した。 			
【フォローアップ委員会時点の自己評価】				
配点	3点	2点	1点	
コストや業務量に見合った成果が得られたか	<input checked="" type="checkbox"/> 得られた	<input type="checkbox"/> 一部得られた	<input type="checkbox"/> 得られていない	
効率的な実施体制で推進されているか	<input type="checkbox"/> 推進された	<input checked="" type="checkbox"/> 概ね推進できた	<input type="checkbox"/> 推進できていない	
積極的に民間活力を活用しているか	<input checked="" type="checkbox"/> 活用できた	<input type="checkbox"/> 一部活用できた	<input type="checkbox"/> 活用できなかった	
【プロジェクトの総括自己評価】				
配点	3点	2点	1点	
コストや業務量に見合った成果が得られたか	<input checked="" type="checkbox"/> 得られた	<input type="checkbox"/> 一部得られた	<input type="checkbox"/> 得られていない	
効率的な実施体制で推進されているか	<input type="checkbox"/> 推進された	<input checked="" type="checkbox"/> 概ね推進できた	<input type="checkbox"/> 推進できていない	
積極的に民間活力を活用しているか	<input checked="" type="checkbox"/> 活用できた	<input type="checkbox"/> 一部活用できた	<input type="checkbox"/> 活用できなかった	
補足説明	<ul style="list-style-type: none"> ●地元測量会社に委託し効率よく作業を実施することが出来た。木材運搬についても地元木材専門運送会社に全面的に委託している。地元林業事業者（素材生産・施業集約化）並びに地元デザイン会社（営業チラシ作成等）・システム会社（労務管理・会計ソフト開発等）と業務提携を行い発展した。 			
【フォローアップ委員会時点の自己評価】				
配点	3点	2点	1点	
地域住民（森林所有者）のニーズを反映しているか	<input type="checkbox"/> 反映している	<input checked="" type="checkbox"/> 一部反映している	<input type="checkbox"/> 反映していない	
プロジェクトの計画内容（箇所・時期等）は適当であったか	<input type="checkbox"/> 適当であった	<input checked="" type="checkbox"/> 一部適当でなかった	<input type="checkbox"/> 適当でなかった	
期待する人材は養成されたか（伐採専門チーム等）	<input checked="" type="checkbox"/> 養成された	<input type="checkbox"/> 一部養成された	<input type="checkbox"/> 養成されていない	
【プロジェクトの総括自己評価】				
配点	3点	2点	1点	
地域住民（森林所有者）のニーズを反映しているか	<input checked="" type="checkbox"/> 反映している	<input type="checkbox"/> 一部反映している	<input type="checkbox"/> 反映していない	
プロジェクトの計画内容（箇所・時期等）は適当であったか	<input checked="" type="checkbox"/> 適当であった	<input type="checkbox"/> 一部適当でなかった	<input type="checkbox"/> 適当でなかった	
期待する人材は養成されたか（伐採専門チーム等）	<input checked="" type="checkbox"/> 養成された	<input type="checkbox"/> 一部養成された	<input type="checkbox"/> 養成されていない	
補足説明	<ul style="list-style-type: none"> ●森プロ事業箇所は、森林組合として小規模所有山林の施業集約化に初めて挑戦した取り組みであり、その目標は十分に達成できた。しかし、恵南地域のモデル地区として適当な箇所を選ぶには事業提案までに時間がなかったため、不十分な検討のまま進まざるを得なかった。 ●人材育成については、森プロ作業道担当者が、作業システム、コスト意識の面で組合全体を引っ張るかたちで取り組みが出来ており、技術が浸透している。H23組合内でフォレストサーベいの研修を実施しオペレーターの養成に力を入れている。 			

【フォローアップ委員会時点の自己評価】				
配点	3点	2点	1点	
関係者(住民・所有者・従事者)の満足度は向上したか	<input type="checkbox"/> 向上した	<input checked="" type="checkbox"/> 一部向上した	<input type="checkbox"/> 向上しなかった	
選定委員会、研修等における指摘事項は十分対応できたか	<input type="checkbox"/> 対応できた	<input checked="" type="checkbox"/> 一部対応できた	<input type="checkbox"/> 対応できなかった	
上記以外にも成果向上のための改善余地はあるか	<input type="checkbox"/> 余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 一部余地がある	<input type="checkbox"/> 余地がない	
【プロジェクトの総括自己評価】				
配点	3点	2点	1点	
関係者(住民・所有者・従事者)の満足度は向上したか	<input type="checkbox"/> 反映している	<input checked="" type="checkbox"/> 一部反映している	<input type="checkbox"/> 反映していない	
選定委員会、研修等における指摘事項は十分対応できたか	<input type="checkbox"/> 適当であった	<input checked="" type="checkbox"/> 一部適当でなかった	<input type="checkbox"/> 適当でなかった	
上記以外にも成果向上のための改善余地はあるか	<input type="checkbox"/> 養成された	<input checked="" type="checkbox"/> 一部養成された	<input type="checkbox"/> 養成されていない	
補足説明	<ul style="list-style-type: none"> ●木材売上の返却については満足が得られた声を幾つか聞いている。 ●作業システムの確立について、現状では林業機械の効率的な活用を確立させる。こういった作業・出荷システムが最適なのか(架線or作業道、中間土場の設置、市売or直送)、そういった統一的な判断基準を組合内で確立しなければいけない。 ●素材生産計画について、基幹道の不足により奥地山林は2~3段架線集材にならざるを得ず、採算ベースでは厳しい状況にあり、計画を見直す必要がある。また、今後の計画生産に向けて、施業前後の材積量について比較検証する取り組みを実施している。 			

自己評価結果(集計)

評価集計	1 達成度	2 成果	3 効率性			
	6	7	7	8	8	
	4 妥当性	5 発展性	合計点			
	7	9	6	6	34	37
	総合評価		フォローアップ時	5年目総括時		
		B	A			

達成度 10

発展性 6

妥当性 9

成果 7

効率性 8

— フォローアップ委員会時点

— 総括時点

総合評価： A=現状維持 B=充実・拡大 C=要改善
(配点区分： A=45~36点 B=35~26点 C=25~15点)

農林事務所 コメント	<ul style="list-style-type: none"> ・集約化は、人工林部分において全て完了することが出来ノウハウが身についた。今後の集約化の広がりに期待したい。 ・当初は、作業道9,000mを計画していたが土質等の影響で1,663mしか開設出来なかった。今後は、マサ土を理解し縦断勾配、路面排水等に注意し作業道を開設、維持管理経費の削減に努力して欲しい。 ・今回の施業は林分が成熟していなかったので大半が切り捨て間伐であったが、次回は路網と架線を組み合わせた利用間伐を推進していただきたい。
---------------	---

プロジェクト実施者による自己総評

プロジェクト 構成員による 個別コメント	<p>このエリアを施業するためには、路網は不可欠である。パパラギ林道があるが地形、地質により延長は困難となった。組合で作業路を開設したが維持管理費がかさみ経営を圧迫するため、今後は行政が主導して基幹道の開設を進める必要がある。</p> <hr/> <p>施業集約化という言葉の位置付けが統一されていないが、人工林での境界明確化、測量は全て完了することが出来た。また、このノウハウが蓄積されたので100ha程度の施業集約化なら実施できることが確立された。</p> <hr/> <p>施業を実施することが必要条件であり、その中で森プロがたまたま関わってきた。この森プロで蓄積されたノウハウは、現在組合の基本となっている。 多くの仲間と集約化、調査測量、施業を実施し、いろいろな問題点を解決しながら一步一步組織としての成長があった。</p>
----------------------------	--